

## 小学校再編に関する個別説明会 概要

- 日 時 : 平成30年10月23日 (火) 19時30分開始  
場 所 : 北小松島公民館  
参 加 者 : 小松島市 各学童保育クラブ会員 30名  
教育委員会 : 石山教育次長 他3名  
(事務局)
- 内 容 : 1.開 会  
2.教育次長あいさつ  
3.説明  
①小学校再編に向けて  
②小松島市立学校再編基本計画 (案)  
③学校施設の利活用  
4.質疑・応答 (意見交換)  
5.閉 会

### ※主な質問や意見及びそれに対する回答

○児童福祉課とも話さなければならないが、場所によって、学童をどう考えているかということ、要望としては最終的にどういうふうにするかというときに、随時相談をしてくれるのか、意見を聞いてくれるのか。今の学童をそのまま新しい学校を作るのか、新しい場所に今の数だけ学童を作ってくれるのか。

→ (回答)

再編に伴って統合、もしくは新設する学校については、そういったスペースを確保するまで、というのが今の現状では委員会としてお答え申し上げるところ。基本的には、新しく学校ができる場所に学童保育クラブ、もし仮に違った場所に、防災とかいろいろな場所を考えて今の11校区でない場所に新しい学校を作ることになったとき、学童さんのスペースを作るという方針を打ち立てている。今後どうするか、運営方法とか、新しく学校に対応する学童さん、若しくは今の学童さんとの関係、集約するのか、その後活かすのか、新たな運営主体を含めてどうするのかというようなことについては学校再編に合わせて児童福祉課と協議をしていただく必要がある。

○新しい学校に学童を作るとしたら、ほとんどの方が行くので残りたくても残れないことがある。統合した場所に全部作るのがいいのか、地域でするのがいいのかということもでてくる。子供さんが第一なので新しい学校にいく方が安全で、離れた場所でやるのは問題があるのではないのかとかいうところもある。統合するとなると、支援員の雇用の問題も出てくる。

○今現在、小松島小学校が一番新しい建物なる。建物は新しいが、津波が押し寄せてきたときには、神田瀬川を目指して来る。3階に逃げたら安全と言われているが、最近は想定外のことが度々起きている。屋上に逃げることはできない。橋が3本あるが、落ちるといことも想定しており、落ちたら逃げる場所はない。松中、ルピアは遠く、一番に逃げたいのは日赤。小松島南中学校は、自転車置き場を高くして、そこに津波を逃すような構造。既存の施設を残すという話があるのであれば、小松島小学校は外していただいて、川から北の地域の方に土地を探して建てていただきたい。

→ (回答)

小松島市のハザードマップでは、バイパスを超えて西側にも津波が来てしまう、という現状がある。市の中心部は、何らかの津波の影響を受ける。小松島市の人口大半が沿岸部にいる。学校施設を山の上など津波が来ない場所に建てる、もしくは既存の学校の場所に建てるのであれば、2階以上、3階4階と色々な考え方ができる。あまり市街地から離れてしまっても、大多数の市民の家から遠くなってしまうということが出てくるので、減災・防災に関し場所の選定については、いろいろなことを考えながらやっていきたい。

○「複合施設」とは何と何が複合なのか。学校と学童が使うから複合なのか。どこどこが使うのか。

→ (回答)

防災備蓄倉庫であるとか、学童保育クラブという形を想定している。一緒に建てるのか別々なのかということは、今後検討・協議という話になる。「複合」と書いているが最終的にはどういった運営、形になるかというので、建物を一緒にする、しないについては流動的などころもある。

○「防災機能を備えた」となっているが、結局新しい地域の防災のことだけになると思うが、廃校になる地域の防災のことも考えてくれるのか。

→ (回答)

今、市の危機管理課では学校施設に防災備蓄品を置いているが、廃校となる学校に備蓄しているものに関して確保をどうしていくのかということについては、考えていかなければならないと思っている。

○今、小松島の防災倉庫はほとんど1階にある。1階に防災倉庫を置いても何の役にも立たないので、新しく作るんだったら屋上においてほしい。

○今回の基本計画は、教育委員会が教育委員会の立場で計画を立てられたんだろうと思うが、すごく子供も減るし、もっと豊かな学校にしたいという基本計画は分かりやすく評価できると思う。皆さんが考えているのは学校の中身だけではなくて、防災の面であったり、地域のつながりであったりということが複合的にかかわってくるので、実施計画に当

たっては市役所の全部署を挙げて計画を練らないといけない。実施計画は教育委員会主導でやるのか、どんなメンバーでやるのか。

→ (回答)

市の全庁的な施策、方向性とのマッチングも含めて、小学校の立地、再編を考えていく。あくまで市役所の内部の協議といったことになるが、実施計画の策定に至っては、通学支援や市のまちづくり、都市計画などを踏まえながらやっていきたいと思っている。

○学校がなくなって地域が寂しくなるというイメージではなくて、逆に学校を再編して、空いたところがその地域にとって「宝」となるようなイメージを持ってもらえれば、よりスムーズに進むと思う。小学校をやっている間は使わないが、いなくなったら 24 時間 365 日 地域の人が使えとか、そういったメリット、デメリットがあると思うが、教育委員会だけで考えてしまうと、そこまできけないと思うので、いろんな方を巻き込んだ方がいいのではないか。

○小中一貫校というのはないのか。松中の横に建ててしまうとか。

→ (回答)

全国的に見ても、小中一貫・連携、隣接しているところとそうでないところも連携はできる。中学校小学校の連携は図っていく必要はあると思う。

○31年度に実施計画、完了が42年という形になっている。実施計画が策定以降どういった進め方になるのか。市の予算ということになると3校同時進行でできないということになると、1校どこかをして、そこから再編という形になる。

→(回答)

今までやってきたようなハード的な要素ではなくてソフト的な要素で、小学校一つ再編するについても非常な労力がある。だから一発に同時というのはほぼ不可能になってくる。新しく建てる、建てない、いろんなことを含めて、徐々に順番を追ってということになる。